

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**実務経験のある教員による科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1131		
科目名	心理学 1		
担当教員	種ヶ嶋 尚志		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 3		
講義室	1307	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 【危機管理学部】 〔DP1-D〕 市民的素養・市民的教養 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 〔DP2-B〕 自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢 自己の存在意義を知り、自らを高め続けようと努力することができる。 〔DP4-I〕 理解力・分析力 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取舍選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 【スポーツ科学部】 〔DP1-D〕 市民的素養・市民的教養 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 〔DP2-B〕 自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢 自己の存在意義を知り、自らを高め続けようと努力することができる。 〔DP4-I〕 理解力・分析力 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取舍選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 D1市民的素養と参加-60% B1自己啓発-20% I3情報分析-20%		
教員の実務経験	担当教員は実践心理の専門家として臨床心理士・公認心理師の資格を有し、心療内科心理カウンセラー、児童相談所心理判定員、スクールカウンセラー、日本オリンピック委員会医・科学スタッフ（スポーツカウンセラー）等を経験してきました。担当科目では在職中の経験等の話も交えながら、心理学的理論・立場を日常生活（キャリア形成含）や健康・スポーツの現場で実践できるよう、これまでの知見と経験を活かした講義を行います。（第1回、第2回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット能力開発の目標ステージとの対応 2進行期～3発展期		
科目概要・キーワード	心理学は外部から直接観察できない「心」を客観的な手法で研究し、人間行動の理解や問題解決への応用に役立てる学問領域です。発達、社会、臨床、異常、健康、環境といった心理学の諸分野の基本的知識およびその研究法を概観し、心理学的現象を客観的に理解し判断する力を身につけます。 ■キーワード：社会心理学・発達心理学・健康心理学・臨床心理学 ※授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。		
授業の趣旨	■副題 人間の心理や行動に影響を及ぼす個人差要因や環境・状況要因を学び、自他の違いを客観的に理解します。 ■授業の目的 ①社会人として必要な教養と社会科学の知識を高めるために、社会、発達、臨床といった心理学の基		

	②自己啓発力を高めるために、認知機能の個人差に関するデモンストレーションや実験参加をもとに客観的に自己や他者の行動を分析する態度を身につける。 ③情報分析力を高めるために、学習内容に関するレポート作成や討論を通じて情報の再構成や評価に関する技能を修得する。 ■授業のポイント 高校までに学習機会の少ない人文社会科学の一学問領域である心理学について、人間の一般的な心理・行動特性を幅広く概観しつつ、心や行動を客観的に捉えるアプローチを学びます。それらの学習を通じて、自分や他者の行動を客観的に解釈する技能を身につけましょう。	
総合到達目標	■文化的素養・市民的教養を高めるために、知覚、記憶、思考、学習、感情を題材として心理学の基礎知識と研究法を理解する。また、自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢を高めるために、心理学的アプローチから自己の行動を客観的に分析する態度を身につける。さらに、理解力・分析力を高めるために、心理学に関する情報の収集・再構成・評価に関する技能を修得する。 ・人間の認知・感情機能に関する基礎知識について正しく説明することができる。(第2回～第13回)「知識」 ・心理学の概念を用いて自分自身の心理や行動を省察し具体的に述べるができる。(第2回～第13回)「知識」 ・特定の心理学的概念に関する情報を複数の情報源から入手し、妥当な情報を整理・系統立てることができる。(第2回～第13回)「態度」 ・日常生活の問題を心理学的視点から捉え、課題解決の方法を論理的に記述することができる。(第14回、第15回)「知識」 ・自身の日常生活や専門に関する問題について、心理学的視点から解決法を立案することができる。(第14回、第15回)「技能」	
成績評価方法	■レポート1回(50%) 適用ルーブリックD1・I3 (評価の観点) 当該単元の理解度を評価します。 (フィードバック方法) 授業時間中に解説を行います。 ■授業参加度(ポートフォリオ等)1回(15%) 適用ルーブリックD1・I3 (評価の観点) 講義ノートの書き込みと予習・復習記述行動を評価します。 (フィードバック方法) 授業時間中に「講評」を行います。 ■リアクションペーパー13回(20%) 適用ルーブリックD1・B1 (評価の観点) 授業内容を日常生活の経験に置き換えて説明できるかを評価します。 (フィードバック方法) 授業時間中に解説を行います。 ■自主調査内容の報告(レポート・プレゼン)1回(15%) 適用ルーブリックD1・I3 (評価の観点) 心理学学修の意義を日常生活や専門と関連づけて論じているかを評価します。 (フィードバック方法) 授業時間中に解説を行います。 ※成績評価における各方法の比率は、授業形態によって変更となる場合があります。詳細は初回ガイダンスで説明します。	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	初回ガイダンスにて、授業の進め方(オンライン授業時の受講方法)や、欠席(欠席届)時の代替課題、受講ポリシー、成績評価の詳細などについて説明します。授業を円滑に進めるために、それらをよく理解した上で履修してください。 不明な点は担当教員に連絡し理解してから履修してください。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価方法について説明、及び心理学の領域について、担当教員の実務経験を踏まえて概要を解説し、受講者が授業の準備を具体的に行えるようにする(I3)。 ③予習(120分) シラバスの内容をよく読み、授業内で扱う領域を教科書、web、図書館等を利用して調べる。 ④復習(120分) 授業ノートを確認して、自分の学修計画と他の履修科目との関係について検討する。
	2	①授業テーマ 心理学とは何か ②授業概要 心理学とは何を学ぶのかについて、担当教員の実務経験を踏まえた概要を学習するとともに、心理学の学問領域について説明できるようになる(D1)。 ③予習(120分) 配布資料を読み、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習(120分) 心理学とはどのような学問領域なのか授業ノートを確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
	3	①授業テーマ 心理学の研究法と歴史 ②授業概要 心の探究に関する研究の歴史的変遷と心理学のアプローチについて学習し(B1)、受講者がそれについて説明できるようになる(D1)。 ③予習(120分) 配布資料を読み、不明な点は質問できるよう準備する。

	④復習（120分） 心理学の歴史と心理学のアプローチについて授業ノートを確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
4	①授業テーマ 感覚・知覚の心理学① ②授業概要 感覚の一般的特性の概要を学習し（B1）、受講者がそれについて説明できるようになる（D1）。 ③予習（120分） 配布資料を読み、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習（120分） 感覚の一般的特性について授業ノートを確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
5	①授業テーマ 感覚・知覚の心理学② ②授業概要 知覚の成立条件、運動知覚・錯覚等の知覚の諸相の概要を学習し（B1）、受講者がそれについて説明できるようになる（D1）。 ③予習（120分） 配布資料を読み、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習（120分） 知覚の成立条件、運動知覚・錯覚等の知覚の諸相について授業ノートを確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
6	①授業テーマ 感覚・知覚の心理学③ ②授業概要 知覚・認知と感性との関わりに関する諸理論を学習し（B1）、受講者がそれについて説明できるようになる（D1）。 ③予習（120分） 配布資料を読み、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習（120分） 知覚・認知と感性との関わりに関する諸理論について授業ノートを確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
7	①授業テーマ 記憶の心理学 ②授業概要 記憶の種類や特性に関する基礎的な理論や研究法を学習し（B1）、受講者がそれについて説明できるようになる（D1）。 ③予習（120分） 配布資料を読み、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習（120分） 記憶の種類や特性に関する諸理論・研究法について授業ノートを確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
8	①授業テーマ 学習の心理学 ②授業概要 条件付けの概要を学習し（B1）、受講者がそれについて説明できるようになる（D1）。 ③予習（120分） 配布資料を読み、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習（120分） オペラント条件付け、レスポデント条件付け等の条件付け理論について授業ノートを確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
9	①授業テーマ 感情・情動の心理学① ②授業概要 感情・情動の分類、機能、発生について学習し（B1）、受講者がそれについて説明できるようになる（D1）。 ③予習（120分） 配布資料を読み、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習（120分） 感情・情動の分類、機能、発生について授業ノートを確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
10	①授業テーマ 感情・情動の心理学② ②授業概要 シャクターの情動二要因説等の情動理論について学習し（B1）、受講者がそれについて説明できるようになる（D1）。 ③予習（120分） 配布資料を読み、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習（120分） 情動理論について授業ノートを確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
11	①授業テーマ 感情・情動の心理学③ ②授業概要 条件付けの概要を学習し（B1）、受講者がそれについて説明できるようになる（D1）。 ③予習（120分） 配布資料を読み、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習（120分） 条件付けについて授業ノートを確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
12	①授業テーマ パーソナリティの心理学① ②授業概要 類型論、特性論といったパーソナリティの基礎を学習し（B1）、受講者がそれについて説明できるようになる（D1）。 ③予習（120分） 配布資料を読み、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習（120分） 心理テスト、個人差について授業ノートを確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。
13	①授業テーマ パーソナリティの心理学② ②授業概要 心理テスト、個人差についての概要を学習し（B1,I3）、受講者がそれについて説明できるようになる（D1）。 ③予習（120分） 配布資料を読み、不明な点は質問できるよう準備する。 ④復習（120分） 心理テスト、個人差について授業ノートを確認し、内容について自分の言葉で説明できるよう概略をまとめる。

	14 ①授業テーマ これまでの授業範囲の到達確認 ②授業概要 これまで学んできた心理学に関して試験にて到達度を確認しまとめを行う（D1・I3）。 ③予習（120分） 授業ノート全体と資料を読み直し、各回のテーマについて説明できるように準備する ④復習（120分） まとめおよび試験の内容を振り返り、今後の学修方針を考える。
	15 ①授業テーマ 授業総括 ②授業概要 これまでの授業で学習したことを総括し当科目に関するまとめを行うとともに、科目を通じて自分が何を修得したかを論理的に記述できるようになる（I3）。 ③予習（120分） これまでに配布した授業資料やノートを読み直し、科目を通じて自分が修得した知識や技能を論じられるように準備する。 ④復習（120分） まとめた内容を振り返り、理解しきれていなかった点について再度まとめなおす。
関連科目	心理学 2 [RMGT/SSCS1132]
教科書	野々村新編（2012）こころへのアプローチ 田研出版
参考書・参考URL	適時紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に通知します。 ■オフィスアワー 金曜3限。それ以外の時間については事前の予約によって対応します。
研究比率	

